

# 平成 27 年夏の国内見学会

7月10日（金）貸切りバスにて工場見学会を開催いたしました。今回の見学先は、①近畿職業能力開発大学校（岸和田市） ②大阪府立産業技術総合研究所（和泉市）及び ③向陽技研株式会社（堺市）を訪ねました。参加者は計29名（事務局除く）と沢山の方に参加して頂きました。

## ① 『近畿職業能力開発大学校（近畿ポリテクカレッジ）』

厚生労働省が所管する職業能力開発大学校で、高校卒業者を対象とした専門課程4学科（大学1，2年）及び応用課程4学科（大学3，4年）とがあり、実践技術者や生産部門のリーダーを育成する訓練を実施している。また在職者向けの訓練として、種々の能力開発セミナーを実施しており短期間&低料金で利用が出来ます。

今回の見学会では事業概要のご説明の後、主に機械系訓練設備の見学と内容のご説明をして頂きました。1，2年生では主に汎用の機械を用いた訓練、3，4年生ではNCマシンなどを用いた課題の製作や他学科とチームを組んで取り組む卒業研究の様子などを丁寧にご説明頂きました。



近畿職業能力開発大学校（近畿ポリテクカレッジ）の見学風景

## ② 『大阪府立産業技術総合研究所』

大阪府内の特に中小企業の技術指導とレベルアップを目的として創設され、その設備と人的資源を活用して企業からの技術相談、受託研究、依頼試験、実用化指導、共同研究開発など中小企業がかかえる技術的課題の解決に取り組んでいます。

今回の見学会では、はじめに施設を利用するために必要な顧客登録申込書のご説明があり、次に施設全体のご説明をして頂いた後に施設の見学をさせて頂きました。我々に一番関係が深いサーボプレス機の見学とご説明、特にスライド位置の制御に関してのご説明をして頂きました。プレス機以外では、レーザメタルデポジションシステム(金属材料を対象としたレーザ肉盛りの加工装置)、X線CT、3Dスキャナ、走査透過電子顕微鏡(ナノレベルの観察)などを見学させて頂きました。



大阪府立産業技術総合研究所の見学風景

工業高校や職業訓練校などの公共の訓練施設にはプレス機がほとんど設置されていませんが、その中でこちらにはプレス機と専門の研究者がおられることは非常に心強く、今後も会員の皆様には大いに施設を利用して頂きたいと思います。

### ③ 『向陽技研株式会社』

堺の地場産業である刃物の地金商として1902年に創業、以来農機具部品や自転車部品加工などを経て1960年にサマーベッドのリクライニング金具を自社で開発してインテリア、家具、介護の業界へ参入、その後座椅子やソファー用リクライニング金具を開発して今日では従業員60名で世界的シェアを獲得する企業となりました。「自ら発想し自らモノを生み出す」向陽技研が持つ特許、実用新案は数多く、他社にマネされない独自の技術でグローバルスタンダードとなる製品を提供しています。



向陽技研株式会社の説明風景

山下社長から会社の概要、特に海外展開についてなどご説明して頂き、その後に工場内を見学させて頂きました。

工場では数多くのプレス機が稼働しており、中国向けやヨーロッパ向けなどの製品もすべてこの工場生産をして、海外（中国など）へ運んで組み立て&出荷をしているとのこと。

大変参考になる工場見学と山下社長による経営戦略のお話でした。



見学者全員による記念撮影（向陽技研にて）